

# 「国土空間研究・地域計画アカデミー」 (ARL) 発行研究叢書について

石井 素介\*

## はじめに

ドイツの北西部ニーダーザクセン州の州都、ハノーファー市の大森林公園に沿ったホーエンツォレルン通りの瀟洒な邸宅風の建物に、この由緒あるアカデミーの事務所がある。1976年秋のある日、ボンからの日帰りでのこのアカデミーを訪ねたのは、ルール大学の Schöller 教授が学生時代以来の友人がいるから連絡してみようと、気軽に訪問の機会を作ってくれたからである。

当時アカデミーの事務局長であった Karl Haubner 博士は、ドイツ国土政策の沿革に詳しい専門家の一人として知られており、この人に会うのが目的であった。同氏は、期待した通りドイツ国土政策の沿革の概要を解りやすい言葉で解説してくれた上に、同アカデミー研究叢書類の一部を希望に応じて贈与してくれた。

この「国土空間研究・地域計画アカデミー」<sup>1</sup>という機関は、それ自体単なる研究所というより、ドイツ全国の大学・研究機関に所属する専門別研究者を糾合して、国土空間整備政策に関連した課題部門 (Sektion) ごとに幾つかのテーマ別研究部会 (Arbeitskreis) を組織し、時代の当面する国

---

\*いしい・もとすけ/明治大学名誉教授

<sup>1</sup>Akademie für Raumforschung und Landesplanung-Hannover(略称 ARL)

土政策立案の基礎となる諸課題を対象として、専門分野の枠を超える学際的・総合的な協同研究の体制を企画し運営するという、特別の役割を果たしている珍しい公的機関である。

1976年当時、アカデミー事務局(Sekretariat)を構成する常勤職員は僅か20余名(内研究職6名、他は製図家・秘書・会計等)だが、各種の部会や各州研究協同体(Arbeitsgemeinschaft)の研究活動に参画する正規会員が72名、通信会員が207名(内22名は外国人)の多数に及ぶ大組織である。その大部分は大学教授、研究機関の現職・OBの研究者から成り、自然科学・社会科学・歴史学等の諸学界の人々や応用分野の技術者や行政プランナーをも含む、広範な諸分野からの専門家達の協力によって、様々なテーマの研究プロジェクトを展開しているのだという。

このアカデミーは、所在のハノーファー市の所属するニーダーザクセン州の政府によって制定された条例(Satzung)に基づく公法上の法人であり、その活動経費の予算措置は、1976年まではドイツ連邦を構成する各州政府が協定(Königsteiner Abkommen)に従って分担していたが、1977年以降は、連邦政府と各州政府の共同の申し合わせによる研究助成金によって賄われているのだという。(以上、同アカデミーの1975年度及び1985年度『年報』、並びに『要覧(Vademecum)』による)

## アカデミー成立の前身

わが国では、このアカデミーは、むしろドイツにおける国土空間整備政策の分野を代表する雑誌 „Raumforschung und Raumordnung“(『国土空間研究と国土空間整備』)の発行者として知られている。この雑誌の創刊は、実はナチス時代の1935年にさかのぼるのである。この点からも窺えるように、本アカデミーは、1930年代にドイツ第三帝国総統の直属機関として設置された、旧帝国国土空間研究協同体 („Reichsarbeitsgemeinschaft für Raumforschung“) の直接の法的継承機関(Rechtsnachfolgerin)である。1945年のベルリン陥落後、それ以前から西側に退避させられていた施設を基に1947年連合軍占領当局の認可を得て、ハノーファー市においてこのアカデミーが新しく設立されたのである。アカデミーの初代総裁を務め

たのは、戦前からの北西ドイツ地誌研究の専門家で、ゲティンゲン大学のニーダーザクセン地域計画・地誌学研究所長を務めていた Brüning 教授<sup>2</sup>であった。

アカデミーからの特別出版物である『国土空間研究・整備事典』(1970)に掲載されている Brüning 教授の履歴・業績の紹介によると、同氏は、1926年ハノーファー大学で地理学の教授資格取得の後、当時まで四分五裂状態にあったニーダーザクセン地方の新しい行政地域区分についての調査報告をまとめる過程で、地誌研究に基づく地域計画の必要性を痛感し、1934年にはハノーファーの「地域計画・地誌学研究所」、さらに1937年創立200周年を迎えたゲティンゲン大学に設立された地域計画・地誌学研究所の所長に招聘されると、「地誌研究を踏まえた地域計画を」という、その基本理念を順次実行に移してゆくことになったのだという。

一方、第三帝国の首都となったベルリンでは、1935年「公共的土地需要の制御のための帝国法」の制定が契機となって、同じ年に「帝国国土計画庁」(Reichsstelle für Raumordnung)、続いて各地方ごとに「地域計画諸部局」(Landesplanungsbehörden)が設立され、全国各地域の大学・研究機関の専門家を動員して活動が開始されることになった(これら諸機関の活動をめぐる諸問題については、M. Rösslerの研究(1987<sup>3</sup>, 1990<sup>4</sup>)をはじめ多数の文献があるが、ここでは立ち入らない)。Brüning 教授は、ハノーファー・ブラウンシュヴァイク地域における責任者(Reichsobmann)として「地域計画協同体」の事務局長を務めることになった。同時に、彼は中央の「国土空間研究のための帝国研究協同体」(Reichsarbeitsgemeinschaft für Raumforschung)の重要な協力者となり、その関係もあって、戦争末期にこの中央機関がベルリンから西側に退避を余儀なくされた際、ハノーファーにおいてこれを受け入れて面倒を見る役割を務めることになったのだという。戦後になって、この機関が全く新しい「アカデミー」という形

---

<sup>2</sup>Brüning, Kurt(1897-1961)

<sup>3</sup>Rössler, Mechthild(1987): Institutionalisation einer neuen „Wissenschaft“, im Nationalsozialismus: Raumforschung und Raumordnung 1935-1945. In: *Geographische Zeitschrift*, Jg. 75, Heft 3, S. 177-194

<sup>4</sup>Rössler, Mechthild(1990): *Wissenschaft und Lebensraum. Geographische Ostforschung im Nationalsozialismus. Ein Beitrag zur Disziplingeschichte der Geographie. Hamburger Beiträge zur Wissenschaftsgeschichte*, Bd. 8, D. Reimer Berlin-Hamburg, XII, 288S.

をとって再建された際、その初代総裁として Brüning 教授が推戴されることになったのも、このような経緯があったからのようである。

それはともかく、戦後のこのアカデミーの活動の状況を見ると、1930年代以来進められてきた国土空間整備政策のための基礎研究の方式を、もちろん時代の要請の変化に応じて研究内容は大幅に変化しているにせよ、その組織体制や研究の推進方式の点では、ほぼそのまま受け継いでいるのではないかと思われる。

第三帝国のナチス体制のもとで独特の用語・概念を使用して発足を見た「国土空間研究」および「国土空間整備」政策とは一体何だったのだろうか。わが国では、ともすればその発足の時期から判断して、これらを頭からナチス独裁体制のイデオロギーにまみれた、偽科学・強制支配の手段の類と見なしてしまう向きも少なくないようだが、果たしてそのような一面的な理解の仕方でのいのだろうか。

もしそうであるとすれば、戦後になってほぼ同様の形でこれを受け継ぎ、内容や指向の転換はあるにせよ、同じ用語・概念を継承しつつ継続発展している戦後西ドイツの国土空間の研究と整備政策のあり方を、一体どのように評価するのか。ナチス体制との因縁関係から悪名の高いドイツ・ゲオポリティークの場合と混同して、同様な評価を下しても良いのだろうか。こうした疑問が、第二次世界大戦後のその後継者であるこのアカデミーの活動の模様を見るにつけて、次々に念頭に浮かんでくるのである。

もちろんナチス体制下における中央集権的な国土計画という性格をもつ開発政策やこれに安易に奉仕する応用科学のあり方に対しては、厳しい批判の目を向けるべきであろう。しかしながらこのアカデミーが逆境の体制下であって、過去の欠陥や矛盾を克服するための解決策を模索しようとした、新しい研究体制の萌芽を見出し継承している点を見落してはならないだろう。こうした点からも、上記の評価の問題に対しては客観的かつ複眼的な視点が重要で、内容の吟味もなしに安易な結論を引き出す事はむしろ慎むべきであろう。

## アカデミーの学術的研究活動

本アカデミーの課題を定めた条例によれば、その任務は「独自に、並びに国内外の類似の機関との協力のもとに、ドイツの国土空間の最善の利用を図るという目的をもって、国土空間研究の領域における学術的認識を促進し、かつそれをドイツ諸州の地域計画と国土空間整備のために活用できるようにすること」に置かれている。

これを実現するための学術的な研究活動としては、a) 部門 (Sektion) 別の多数の研究委員会組織、b) 全国を大まかに区分した地域別研究協団体、という二つの研究組織を編成している。1975年の段階で見ると、部門の方では4研究部門のもとに合計18組の研究部会 (Arbeitskreis) が置かれ、並行して研究が進められている。その内容テーマ名は次の如くである。(括弧内は部会名)

### (1) 1975年当時の部門・部会の活動状況

#### [部門 I] 計画立案過程と研究方法

(国土空間整備法の継続発展、都市計画における理論と実際との関係、発展計画の中での地域的教育計画、実践的地域調査の方法、都市地域空間の歴史的発展、諸官庁の1800年以來の管轄区域変遷、主題地図と電子データ処理)

#### [部門 II] 部門別観点・総合的観点と研究手段

(均衡のとれた機能空間という地域政策概念、人口密集地域における公共財政の諸問題、農村地域空間発展のための指導理念、国土空間整備のための手段としての交通運賃政策、エネルギー施設の立地と路線配置)

#### [部門 III] 景観と自然的基礎

(生態学的空間計画のためのモデル、余暇計画のためのモデル、近代的工業社会の空間需要—ライン・ネッカー地域を例に)

#### [部門 IV] 集落空間

(社会的発展と地域的人口予測、都市郊外地域の発展過程、集落間発展軸の内部構造)

以上は、1975年現在の実情であるが、1985年の段階になるとかなりの変化が見られる。

## (2) 1985年当時の部門・部会の活動状況

### [部門 I] 経済と環境

(国土空間整備と環境保護の基本原則・目標・認識の相互的影響、新規情報通信技術の空間的作用、地域の労働市場の諸問題、農業経済発展の空間的影響、森林被害の空間的影響、観光が地域発展に及ぼす寄与、自然空間が持つ潜在力の地図化、エネルギーの空間的供給の諸問題)

### [部門 II] 人口・集落・インフラの構造

(地域的人口将来予測の推計方法、地域計画地図の作成、将来の土地面積に対する需要・潜在力および土地利用競合をめぐる紛争、1800年以来の官庁別行政管轄区域の構成変遷)

### [部門 III] 地域計画の構想と政策措置

(機能空間分業の構想と手段、地域計画の諸活動への新技術活用、環境からの諸要求を考慮した空間計画措置に即応しうる諸手段)

このような部門別編成と各研究部会のテーマ別構成、それらの時代による変化の状況から、このアカデミーの研究活動のあり方、従ってまた、ドイツ各州・各地域が当面する地域計画上の課題の態様がある程度うかがえるであろう。

一方、各地域別研究協同体 (Landesarbeitsgemeinschaft, LAG と略称される) の方は、当時の西ドイツを5地域に区分して、次の地域ごとに研究協同体を組織し、各地域独自の課題についての調査研究が進められている。

すなわち、1) バーデン-ヴュルテンベルク州、2) バイエرن州、3) ヘッセン、ラインラント-プファルツ、ザールラントの3州、4) 北ドイツ諸州、つまりニーダーザクセン、シュレスヴィヒ-ホルシュタインの2州とブレーメン、ハンブルクの2都市州、5) ノルトライン-ヴェストファレン州、という5地域がこれである。

これらの研究部会あるいはLAGの活動状況を見ると、分野ごと・地域ごとに当面する重要課題をテーマとして、テーマに関連する専門家、LAGの場合には関係地域所在の大学や州政府の研究機関所属の専門家数名をメンバーとする研究委員会を組織し、分担を決めて調査を実施した上で、年に2・3回の研究報告・討論会を開催して調査結果をまとめ、その成果は出版物シリーズの一冊として刊行されている。

以上が研究活動として継続的に実施されているものの概要であるが、その他に随時開催される行事がある。アカデミー全体の年次学術大会 (Wissenschaftliche Plenarsitzung) は毎年国内各地で特定課題についてのシンポジウムとして開催され、数名の専門家による報告と討論の内容は、その都度出版物として発表される。その他に、州政府の部局や自治体で地域計画・都市計画等を担当するプランナー養成のための講習会なども随時開催されている。

各部門・各研究部会の会議の場合も含めて、これらの研究討論会・シンポジウム等の開催地は、特定都市に集中することなく、毎回わざわざ全国各地を巡回するという形をとっている点に特徴が見られ、中央集権制とは反対の地方自治制の強固なドイツ社会の性格がそこにも反映されている。会議開催地の選択には、もちろん主要テーマと関連の深い問題を持つ地域が多く選ばれ、地元自治体の責任者が報告者の一人として招聘されたり、討論に参加したりする例が多く見られる。「国土空間研究」のねらいが、基礎科学と政策行政的实践との橋渡しに置かれているということの意味が、こうした会議運営の面にも表れていると見ることができるだろう。

## アカデミーの出版物

「国土空間研究・地域計画アカデミー」としての出版物には、7種類のシリーズがあり、毎年それぞれ数冊以上の刊行が継続しているので、その総数は膨大な量にのぼる。出版物の大部分は、国内外の大学図書館や同種の目的をもった研究機関等との間で交換文献の形で配布され、また同時に地元の出版社(数年ごとに変遷あり)を通じて販売もされていたが、近年はアカデミーの出版部自体で販売されるようになったようである。いずれにしても他国には同類の組織が殆んど(残念ながら日本の場合にも)存在しない異例の研究機関なので、とりわけ日本国内にはこれらのシリーズを揃えて所蔵する機関はまだ無いであろう(筆者はかつて国立国会図書館の取書部長宛に、これの取書を要望する書簡を送ったことがあるが、実現しなかった)。

以下、1985年度の『アカデミー年報』ならびに1987年度の『アカデミー

出版物カタログ』(当時は Curt R. Vincentz Verlag 社発行)によって出版物シリーズの概要を説明することにしよう。

**a) *Forschungs- und Sitzungsberichte* (FS) 【研究・学術大会報告叢書】**

これはアカデミーの研究部会 (Arbeitskreis) や地域研究協同体 (LAG) 等の研究成果報告、シンポジウムの報告記録等を収録するもので、シリーズ初期には、当時の研究部門 (Sektion) 構成を反映して、『国土空間と社会』、『国土空間と人口』、『国土空間と農業』、『歴史的国土空間研究』、『都市と都市地域空間』、『法制と行政』等のシリーズの継続刊行が見られる。1970年代後半以降になると多様な研究テーマをもつ研究(作業)部会 (Arbeitskreis) の活動成果が出現するようになってくる様子がうかがえる。1950年の第1巻以降1985年末までに162巻刊行されている。(その後アカデミー事務局の Dr. Tönnies の好意により第177巻(1988)の寄贈を受けたが、最近までの刊行数は現在のところ不明)

**b) *Abhandlungen* (AB) 【研究論文・報告書叢書】**

個別の研究成果のまとまった論文・報告書を収録するもので、連邦や州政府からの委託研究の成果なども含まれている。1985年末までに87巻が刊行されている。

**c) *Beiträge* (BE) 【参考研究論文叢書】**

(AB) シリーズよりも小規模な個別研究成果のシリーズで、特殊な技術的課題に関する個人や小規模作業グループの成果報告、また近隣諸国の国土政策の紹介なども含まれている。

**d) *Taschenbücher zur Raumplanung* (TR) 【地域空間計画のための小型叢書】**

国土・地域政策のための7巻よりなる新書判叢書で、一部改訂された新版もある。

**e) *Deutscher Planungsatlas* (DP) 【ドイツ地域計画アトラス・シリーズ】**

1985年段階では国内各州別に各種主題図の編集発行が少しずつ進行している状態で、まとまったのはノルトライン-ヴェストファレン (NRW) 州

で 100 枚の各種彩色主題図と衛星画像からなる地図集が 1983 年に完成したに過ぎない。地図の縮尺は 50-100 万分の 1 程度で、折畳み B5 判の説明書と共に 48 分冊刊行されている。

#### **f) *Arbeitsmaterialien* (AM) 【研究素材資料集】**

公式の出版物でなく調査研究途上の生の資料を関係者に仮印刷の形で配布するもの。1985 年末までに 103 冊が刊行されている。

#### **g) *Raumforschung und Raumordnung* 【雑誌『国土空間研究と国土空間整備』】**

既述の通りこれは 1935 年創刊の雑誌であるが、戦後はボン市所在の連邦地誌・国土空間整備研究機関との共同編集により発行されている。

#### **h) *Sonderveröffentlichungen* 【特別出版物】**

毎年度の『年報』(年度業務報告)や『アカデミー要覧』等のほか、これまでに『国土空間研究』(アカデミー 25 周年記念出版物、1960)、『国土空間研究・国土空間整備事典』(1970、3 巻本)、『国土空間整備事典』(1995 新版、1 巻本)、『国土空間計画資料集』(1981 以降)等が発行されている。

## 追記

以上、今回のリスト収録分は、本アカデミーからの寄贈分と書店購入分を含めて、明治大学図書館に収納済み(含収納準備中)のものすべてを取上げた。これらは筆者が 1969～1992 年の間、数次のドイツ滞在時に現地で、また東京で収集・購入したものであるが、アカデミー出版物全体の一部分に過ぎず、また筆者の研究上の問題関心から農村開発・環境問題・地図学等の分野、特に地理学者が中心となってまとめた作品(例えば、FS-127, 130, 132, 137, 156, BE-46, 50, DP-1-13, 22)等に多少偏る結果となっていることをお断りしておかねばならない。今後は、ドイツの国土空間政策に関心を持つ日本の若い研究者の方々に、これらの資料が存分に素材として活用され、またぜひその欠を埋めて行って頂けることを期待したい。

**Veröffentlichungen der Akademie für Raumforschung und  
Landesplanung (ARL) - Hannover**  
**【国土空間研究・地域計画アカデミー (ARL)**  
**出版物在庫目録】**

**a) Forschungs- und Sitzungsberichte (FS) 【研究・学術大会報告叢書】**

FS-Bd. 1, Lfg. 1: *Raum und Gesellschaft*. Referate und Ergebnisse der gemeinsamen Tagung der Forschungsausschüsse „Raum und Gesellschaft“ (Leiter: K.V. Müller) und „Grossstadtprobleme“ (Leiter: Elisabeth Pfeil). Walter Dorn Verlag, Bremen-Horn 1952, 186 S. 【FS-第1巻第1分冊:『国土空間と社会』二つの研究委員会「国土空間と社会」、「大都市問題」の合同発表大会の併せて24人の発表論文を取録したもの。内容的には、前者では人口学・社会学的視点から第二次大戦前(1939)と戦後(1950)の国勢調査統計データによる人口動態・家族類型別出生動向の分析、事例地域調査による人類学的計測・民俗調査・選挙結果分析等、後者では、特に戦後の東方旧領域からの追放者・引揚者の流入定着過程の調査に重点が置かれている。これらの点から戦後段階の地域空間研究における問題関心の重点を窺うことができる】

FS-Bd. 3: *Raum und Wirtschaft: volkswirtschaftliche Gesamtrechnung, Gemeindetypisierung*. Aus dem Forschungsausschuss für regionale Wirtschaftsfragen. Walter Dorn Verlag, Bremen-Horn 1953, 165 S. 【FS-第3巻:『国土空間と経済:国民経済的総決算と自治体類型区分』地域経済の諸問題に関する研究委員会からの報告書】(明治大学図書館所蔵資料の請求記号・L13H4/332.9-65/DZ)

FS-Bd. 5, Lfg. 3: *Landesplanung im Rahmen der Staats- und Wirtschaftsplanung-Griechenland als Beispiel*, von K.H. Pfeffer. Walter Dorn Verlag, Bremen-Horn 1957, 16 S. 【FS-第5巻第3分冊:『国土・経済計画の枠内における地域計画-ギリシャを事例として』第二次世界大戦後のギリシアにおける国土・地域経済計画の前提・経過と計画を概観したもの】

FS-Bd. 5, Lfg. 5: *Künstliche Bewässerung in Australien*, von Konrad Frenzel. Walter Dorn Verlag, Bremen-Horn 1957, 32 S. 【FS-第5巻第5分冊:『オーストラリアにおける人工灌漑』オーストラリアにおける農業の気候条件・水経済・人工灌漑計画について概観したもの】

FS-Bd. 6: [Historische Raumforschung 1]: *Forschungsberichte des Ausschusses „Historische Raumforschung“ der Akademie für Raumforschung und Landesplanung*, Bd. 1. Walter Dorn Verlag, Bremen-Horn 1956, 154 S. 【FS-第6巻:〔特集:歴史的国土

空間研究 1] 『アカデミー「歴史的国土空間研究」委員会研究報告』(KB3/7-477/H)

FS-Bd. 9: [Raum und Landwirtschaft 1]: *Forschungsberichte des Ausschusses „Landwirtschaft“ der Akademie für Raumforschung und Landesplanung*. W. Dorn Verlag, Bremen-Horn 1958, 154 S. 【FS-第 9 卷: [特集: 国土空間と農業 1] 『アカデミー「農業」委員会研究報告』いわゆる社会的市場経済における農業の進むべき道を課題とする「農業」研究委員会(主査: ブラウンシュヴァイクの連邦農業研究機関 O. Heuser 教授)の研究成果で、主査による総括報告の他、経営規模と土地利用システム、農業所得形成、農村・都市間の社会経済的・心理的諸過程、農村的困窮地帯の画定方法、福祉水準上昇プロセスにおける農業地帯の地位等についての 6 論文を収録】(なお、本巻は京都大学地理学教室蔵書からの複写版)

FS-Bd. 14: [Raum und Bevölkerung 1]: *Stadtregionen in der Bundesrepublik Deutschland*. Forschungsberichte des Arbeitskreises „Städtische Regionalprobleme“ im Ausschuss „Raum und Bevölkerung“ der ARL. Walter Dorn Verlag, Bremen 1960, 237 S. 【FS-第 14 卷: [特集: 国土空間と人口 1] 『ドイツ連邦共和国における都市地域』アカデミー「国土空間と人口」委員会の中に設けられた「都市の地域問題」研究部会による研究成果報告】

FS-Bd. 15: [Historische Raumforschung 3]: *Raumordnung im Aufbau des mittelalterlichen Staates*: Forschungsberichte des Ausschusses „Historische Raumforschung“ der ARL. Walter Dorn Verlag, Bremen 1961, 85 S. 【FS-第 15 卷: [特集: 歴史的国土空間研究 3] 『中世国家建設期における国土空間整備』アカデミー「歴史的国土空間研究」委員会の研究報告】

FS-Bd. 20: [Raum und Landwirtschaft 4]: *Die Landwirtschaft in der Europäischen Wirtschaftsgemeinschaft, T. 3: Aspekte und Wege der Integration*. Forschungsberichte des Ausschusses „Raum und Landwirtschaft“ der ARL. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1962, 147 S. 【FS-第 20 卷: [特集: 国土空間と農業 4] 『EEC の農業・第 3 部: 統合の諸側面と諸道程』アカデミー「国土空間と農業」委員会による第 4 回研究成果報告】

FS-Bd. 21: [Historische Raumforschung 4]: *Raumordnung in Renaissance und Merkantilismus*: Forschungsberichte des Ausschusses „Historische Raumforschung“ der ARL. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1963, 125 S. 【FS-第 21 卷: [特集: 歴史的国土空間研究 4] 『文芸復興期および重商主義時代における国土空間整備』アカデミー「歴史的国土空間研究」委員会の第 4 回研究報告】

FS-Bd. 22: [Raum und Bevölkerung 2]: *Die Entwicklung der Bevölkerung in den Stadtregionen*: Forschungsberichte des Ausschusses „Raum und Bevölkerung“ der ARL. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1963, 206 S., mit einer Kartenbeilage. 【FS-第 22 卷: [特集: 国土空間と人口 2] 『都市諸地域における人口発展』アカデミー「国土空間

と人口」委員会の第2回研究報告】

FS-Bd. 27: [Raum und Landwirtschaft 5]: *Die Landwirtschaft in der Europäischen Wirtschaftsgemeinschaft, T. 4: Agrarische Anpassungsprozesse an den Binnengrenzen*. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1964, 233 S. 【FS-第27巻: [特集: 国土空間と農業 5] 『EECの農業・第4部: (EECの) 内部国境における農業上の適応過程』アカデミー「国土空間と農業」委員会による第5回研究成果報告。農業の社会経済的発展において国境という要因の果たしている作用影響を究明するために実施された、独・蘭間(エムス地域、ライン川下流地域)、独・仏間(黒森-アルザス地域)、仏・伊間(リヴィエラ地域)の国境を挟む両側地域の詳細な現地調査を含む6人の研究報告論文を収録】

FS-Bd. 29: *Historische Kartographie: Forschung und Bibliographie*, von Günther Franz. 2., verb. und erg. Aufl. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1962 (1. Aufl. 1955), 149 S. 【FS-第29巻: 『歴史地図学: 研究と文献目録』増補改訂第2版、1962(第1版: 1955)】(KB3/7-500/B/H)

FS-Bd. 30: [Historische Raumforschung 5]: *Raumforschung im 19. Jahrhundert*: Forschungsberichte des Ausschusses „Historische Raumforschung“ der ARL, T. 1. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1965, 261 S. 【FS-第30巻: [特集: 歴史的国土空間研究 5] 『19世紀における国土空間研究』アカデミー「歴史的国土空間研究」委員会の研究報告・第1部】(KB5/413/H)

FS-Bd. 31: [4. Wissenschaftliche Plenarsitzung]: *Tendenzen der Raumentwicklung in unserer Zeit*. Referate u. Diskussionsbemerkungen anlässlich der Wissenschaftlichen Plenarsitzung 1964 in Kiel. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1965, 96 S. 【FS-第31巻: [特集: 第4回学術大会] 『われらの時代における国土空間発展の諸傾向』1964年キール市開催の年次学術大会において発表された3つの報告論文、『地域的経済政策の様式変化』(Th. Dams)、『構造的に均衡のとれた国土空間』(G. Ziegler)、『国土空間整備における都市の地位と機能』(G. Keil)と、これをめぐる討議の要旨を収録】

FS-Bd. 36: [Raum und Landwirtschaft 6]: *Der Beitrag der Landwirtschaft zur regionalen Entwicklung*. Forschungsberichte des Ausschusses „Raum und Landwirtschaft“ der ARL. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1967, 277 S. 【FS-第36巻: [特集: 国土空間と農業 6] 『地域の発展に対する農業の貢献』アカデミー「国土空間と農業」委員会の第6回研究成果報告。全国各地の大都市近郊や辺境農村、土壌の肥沃度等自然条件の良否、工業化や観光化の影響の強い農山村など、様々な条件を持つ12の農村地域についての事例調査報告と、農業と土地利用についての地域空間的な視点からの考察の重要性を強調する総括報告をめぐってかわされた討議の要旨を収録】

FS-Bd. 39: [Historische Raumforschung 6]: *Raumforschung im 19. Jahrhundert*: Forschungsberichte des Ausschusses „Historische Raumforschung“ der ARL, T. 2. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1967, 241 S. 【FS-第39巻: [特集: 歴史的国土空間研究

6] 『19世紀における国土空間研究』アカデミー「歴史的国土空間研究」委員会の研究報告・第2部】(KB5/413/H)

FS-Bd. 46: [8. Wissenschaftliche Plenarsitzung]: *Die Auswirkungen technischer Fortschritte auf Raumordnung und Stadtplanung*. Referate und Diskussionsbemerkungen anlässlich der Wissenschaftlichen Plenarsitzung 1968 in Wolfsburg. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1969, 115 S. 【FS-第46巻: [特集: 第8回学術大会] 『技術進歩の国土空間整備・都市計画への影響』1968年ヴォルフスブルク市で開催された学術大会で発表された報告、即ち技術進歩、とりわけエネルギーと合成素材産業における技術進歩が国土空間整備や都市計画にもたらした影響についての5人の報告論文とこれをめぐる討議の要旨を収録】

FS-Bd. 47: [Raum und Landwirtschaft 7]: *Versorgungsnahbereiche als Kleinzentren im ländlichen Raum*. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1969, 244 S. 【FS-第47巻: [特集: 国土空間と農業 7] 『農村地域空間における小中心としての近隣消費供給圏』アカデミー「国土空間と農業」委員会の第7回研究成果報告。機能社会の空間的区分、農村発展史、中心地機能、地域的教育計画、農村地域の交通問題等の諸側面からの原則理論的検討及び7地区の事例調査により近隣消費供給圏の問題を追究する合計14報告論文を収録】

FS-Bd. 48: [Historische Raumforschung 7]: *Grenzbildende Faktoren in der Geschichte*. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1969, 175 S. 【FS-第48巻: [特集: 歴史的国土空間研究 7] 『歴史における境界形成の諸要因』アカデミー「歴史的領域空間研究」委員会の第7回研究成果報告。古代オリエント、ドイツ国内のリメス遺跡(古代ローマの前線堡壘)、中世のフランケン、ヘッセン、中世末以降の西南ドイツの諸侯領、アルザスと南プファルツ間の独仏国境、ザクセン、ハノーファー-ナッサウ等の併合結果など諸事例の報告を収録】

FS-Bd. 50: [Historische Raumforschung 8]: *Zur Methodik von Wirtschaftskarten des 19. Jahrhunderts*. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1969, 83 S., mit 16 Kartenbeilage. 【FS-第50巻: [特集: 歴史的国土空間研究 8] 『19世紀の経済地図作成に関する方法論』アカデミー「歴史的国土空間研究」委員会の第8回研究成果報告。19世紀(主として1820年頃)の初期工業化を示す経済地図の作成方法とその史料源を、当時のドイツ全域、ライン邦、南バイエルン、ヴェストファレン、ラインヘッセン、バーデン-ヴュルテンベルク、下部フランケンの各地域の報告8論文を収録】

FS-Bd. 66: [Raum und Landwirtschaft 8]: *Die Zukunft des ländlichen Raumes*, T. 1: Grundlagen und Ansätze. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1971, 185 S. 【FS-第66巻: [特集: 国土空間と農業 8] 『農村空間の将来・第1部: 基礎と取り組み』アカデミー「国土空間と農業」委員会の第8回研究成果報告。農村地域空間発展の目標設定の考え方について、行政と政党、地理学、社会学、財政学、農業生産技術、農業構造論、林業政策、余暇観光政策など、種々な観点からの提言を含む10人の報告論文を収録】(なお、本巻は「農村開発企画委員会」図書室所蔵本からの複写。

一部 (財政学編) 欠落あり)

FS-Bd. 68: [Landesarbeitsgemeinschaft (LAG) Baden-Württemberg 2]: *Landesplanerische Aspekte der Entwicklung der Land- und Forstwirtschaft in Baden-Württemberg*. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1972, 76 S., mit 2 Kartenbeilage. 【FS-第 68 巻: 『地域計画立案者の観点から見たバーデン-ヴュルテンベルク (B-W) 州農林業の発展』アカデミーの B-W 州国土空間研究共同体 (LAG)(主査: Josef Umlauf) の第 2 回研究成果報告。農業・林業の現状と発展可能性、農業政策の地域計画的側面、農業経営の社会奉仕的役割に対する助成政策、計画論から見た農林業の構造変化の諸結果などについての 6 人の報告論文を収録】

FS-Bd. 69: [Stadtforschung 2]: *Die Mittelstadt, T. 2: Untersuchungen ausgewählter Mittelstädte*. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1972, 273 S. 【FS-第 69 巻: [特集: 都市研究 2] 『中規模都市・第 2 部: 中都市 8 事例についての調査研究』アカデミー「都市研究」委員会の第 2 回研究成果報告。応用的都市研究、すなわち現実近接的・問題指向的な都市研究の視点から、カッセル、オルデンブルク、トリアー、フルダ、フライブルク (i.Br.)、ハイルブロン、ヴァンネ-アイケル、ヴォルフスブルクの 8 中都市について個別に調査した各モノグラフィーを収録】

FS-Bd. 70: [Stadtforschung 3]: *Die Mittelstadt, T. 3: Grundlagen und Entwicklungstendenzen der städtebaulichen Struktur ausgewählter Mittelstädte*. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1972, 121 S., mit Kartenbeilage. 【FS-第 70 巻: [特集: 都市研究 3] 『中規模都市・第 3 部: 8 事例中規模都市の都市計画的構造の基礎と発展傾向』前記第 69 巻の事例 8 都市の調査結果モノグラフィーを素材として、旧都心部の構成、交通計画、工業計画、住宅地計画、緑地帯計画、改造計画、都市境界を越える計画の諸側面について、カッセル市の都市計画専門家 W. Bangert 氏が総括的に検討し、まとめた報告を収録】

FS-Bd. 80: [Recht und Verwaltung 1]: *Raumplanung-Entwicklungsplanung*. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1972, 164 S. 【FS-第 80 巻: [特集: 法制と行政 1] 『国土空間計画-発展計画』アカデミー「法制と行政」委員会の第 1 回研究成果報告。州地域計画法の発展傾向、公共的計画の新手段、自治体発展計画の法的・行政的諸問題、自治体行政における発展計画、実施可能な都市発展計画の権限調整のための法的対策、国土空間整備と財政計画、などの諸問題についての 6 報告論文を収録】

FS-Bd. 83: [Raum und Landwirtschaft 9]: *Die Zukunft des ländlichen Raumes, T. 2: Entwicklungstendenzen der Landwirtschaft*. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1972, 128 S. 【FS-第 83 巻: [特集: 国土空間と農業 9] 『農村地域空間の将来・第 2 部: 農業の発展傾向』アカデミー「国土空間と農業」委員会の第 9 回研究成果報告。農業技術革命と将来の農業、農業生産の地域的傾向、農産物市場の将来、土地・水条件の改良保全への新課題、専業兼業別農業構造変化の地域的動向、農業者の社会

的要求、等の7報告論文を収録】

FS-Bd. 86: [Thematische Kartographie 3]: *Untersuchungen zur thematischen Kartographie*, T. 3: Textbd. (Karten in gesonderter Beilage). Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1973, 194 S. 【FS-第86巻: [特集: 主題(テーマ)地図学3] 『主題(テーマ)地図学研究・第3部: 論文編』アカデミー「主題(テーマ)地図学」委員会の第3回研究成果報告。主題地図学における類型構成の必要と問題点、人口密集地域における過程進行の類型、ザールラントにおける中心機能施設の供給範囲と重点の地図化による空間類型、人口年齢構成類型の地図表現、地域計画のための農業地理的地域空間類型とその地図化、観光客交通の類型とその地図表現、専門地図帳のための類型構成、電子データ処理による問題地域の類型化と境界区分、主題図区分と類型化への電子データ処理導入のための準備作業、学校での地図教育における類型構成とその表現、等の10報告論文を収録】

FS-Bd. 87: *Methoden der empirischen Regionalforschung*, T. 1. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1973, 230 S. 【FS-第87巻: 『経験的地域研究の諸方法・第1部』(主として統計数理手法による)アカデミー「経験的地域研究の諸方法」研究グループの成果報告第1部。経験的地域研究とは、都市計画における実際の問題カタログ、方法論概観、時系列の地域的移動成分の評価、レグレッション分析、分光分析の時系列研究への応用、シフト分析、因子分析、利用価値分析、費用効用分析、模擬演習法、リニア・プログラミング等の報告を収録】

FS-Bd. 88: [Historische Raumforschung 11]: *Stadt-Land-Beziehungen und Zentralität als Problem der historischen Raumforschung*. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1974, 345 S. 【FS-第88巻: [特集: 歴史的国土空間研究11] 『歴史的国土空間研究上の問題としての都市-農村関係および中心性』アカデミー「歴史的国土空間研究」委員会の第11回研究成果報告。総論の他、事件現場としての都市と都鄙関係の機能分析、ローマ世界帝国、中世高期のローマ辺境、中世初期・高期の古バイエルン、ニュルンベルク史、オランダ史、中世高期の北西ドイツ、宮廷都市ドレスデンの市外関係、18世紀スエーデン・フィンランド諸都市の農業的性格、19世紀独・奥における都鄙関係と租税政策、工業化開始前ヴェストファレンの人口移動と中心性、第二次大戦前後の東西ドイツ都市の人口発展、東独新都市の特性と中心性、19世紀初頭ドイツの工業分布図作製の史料源としての同時代出版物、等の諸テーマにわたる15の報告論文を収録】

FS-Bd. 89: *Der ländliche Raum: Randerscheinung oder integriertes Ausgleichsgebiet*. Referate und Diskussionsbericht anlässlich der Wissenschaftlichen Plenarsitzung 1973 in Nürnberg. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1974, 60 S. 【FS-第89巻: 『田園農村空間: それは周縁現象か、それとも統合された均衡調整地帯か』1973年ニュルンベルク市で開催されたアカデミーの年次学術大会における講演と討議の報告。田園農村空間の問題点の分析と題する総論の他、農業経済学から見た将来発展、生態学から見た将来の景観活用、工業誘致による田園農村空間の将来発展、田園農

村空間のための戦略的地域政策、等の 5 報告論文を収録】

FS-Bd. 91: *Beiträge zur Raumplanung in Hessen/Rheinland-Pfalz/Saarland*. Forschungsberichte der Landesarbeitsgemeinschaft Hess./Rh.-Pfalz/Saarland der ARL. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1974, 130 S. 【FS-第 91 巻: 『ヘッセン州・ラインラント-プファルツ州・ザールラント州の 3 州における国土空間計画に寄与するための研究資料』同 3 州の研究協同体 (LAG) の成果報告。歴史的諸関係、人口の現状・発展・分布、自治体・自治体連合の歳入・歳出状況から見た活動性程度、農業の空間的發展、等の 4 報告論文を収録】

FS-Bd. 93: *Integrierte Verfahren regionaler Bildungs- und Entwicklungsplanung*. Forschungsbericht des Arbeitskreises „Regionale Bildungsplanung im Rahmen der Entwicklungsplanung“ der ARL. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1974, 92 S., mit Karenbeilage. 【FS-第 93 巻: 『地域的教育計画と発展計画との統合された進め方』アカデミーの「発展計画の枠内での地域的教育計画」研究グループの成果報告。計画立案研究の課題としての教育計画の発展計画への統合方法、地域教育計画当事者としての住民の計画への参画 (オスナブリュック市の事例)、地域的学校発展計画における州政府行政のパートナーとしての地域自治体 (東フリースランドの事例)、学校立地計画における米国モデルの応用 (バイエルン州の事例)、新設大学のミクロ立地決定準備に際して都市発展との両立を考慮した計画手続きの事例 (オスナブリュック大学)、地域教育計画の立案に際して市民イニシアティブ運動の持つ意義、地域的教育計画立案への住民参加、等の 7 報告論文を収録】

FS-Bd. 94: *Ausgeglichene Funktionsräume. Grundlagen für eine Regionalpolitik des mittleren Weges*, T. 1. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 182 S. 【FS-第 94 巻: 『均衡のとれた機能地域空間: 中道的地域政策の基礎・第 1 部』成長政策と安定化政策の中間を指向する中道的地域政策を、理論的かつ实际的に論じた 11 研究者の論文を収録。それらの焦点は、調和のとれた機能空間地域の本質的な構成部分としての、地域労働市場のもつ機能発揮能力をめぐる諸問題に向けられている】(601/196/D)

FS-Bd. 95: *Untersuchungen zur kleinräumigen Bevölkerungsbewegung*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 145 S. 【FS-第 95 巻: 『小地域空間における人口動態に関する調査研究』地域間における人口動態の問題領域、つまり出生率と死亡率の地域差並びに地域間の人口移動に関する諸問題とそれらの条件や原因に関する 8 研究者の論文を収録】(334/758/D)

FS-Bd. 96: *Raumplanung in Verdichtungsräumen: Wunsch und Wirklichkeit*. 13. Wissenschaftliche Plenarsitzung 1974 in Wiesbaden. H. Schroedel Verlag, Hannover 1974, 72 S. 【FS-第 96 巻: 『人口密集地域空間における地域空間計画: 願望と現実: 1974 年ヴィースバーデンで開催された第 13 回年次学術大会報告』人口密集地域における空間的發展を制御する既存の諸機関・諸手段の果たす役割について、その実際的な問題点を取り扱う本シンポジウムで報告された 11 研究者の論文を収録。諸外

国における経験について評価したのも含まれている】(601/199/D)

FS-Bd. 97: *Stadt und Stadtraum*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1974, 169 S. 【FS-第 97 巻: 『都市と都市地域空間』都市地域空間研究のための素材として、ドイツ内外の中小都市、ヴェルツブルク、ツヴェットル、プリクセンシュタット、カストロプ-ラウクセル、ザールブリュッケンの事例 5 都市の他、若干の総括的展望報告を含め、都市区域の形成とその内部における集落と土地利用の拡大・変貌について、その歴史から現在に到る経過を調査した 9 人の研究成果論文を収録】(361/2298/D)

FS-Bd. 99: *Regionalwirtschaftliche Langzeitreihen: Untersuchungen auf der Grundlage der Steuerstatistiken*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 114 S. 【FS-第 99 巻: 『地域経済の長期時系列動向: 租税統計を基礎とする研究』ドイツにおける租税統計データを素材として、諸地域の持つ経済力や地域住民の福祉水準をどの程度表現し得るかという問題を究明するため、全国の諸地域の長期にわたる発展動向を分析し表現した 4 報告論文を収録】(601/197/D)

FS-Bd. 100: *Beiträge zur Raumplanung in Hessen/Rheinland-Pfalz/Saarland*. LAG (Landesplanungs-Arbeitsgemeinschaft) Hessen/ Rheinland-Pfalz/ Saarland 2. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 99 S. 【FS-第 100 巻: 『ヘッセン州・ラインランド-プファルツ州・ザールランド州における地域空間計画に寄与するための研究資料』同 3 州地域計画協同体 (LAG) の成果報告第 2 号。同 3 州の道路建設投資、地域経済振興対策、遠距離通勤者の動向の分野別に、地域空間整備の視点からの事例調査を行った 5 報告論文を収録】(601/198/D)

FS-Bd. 101: *Städtische Grün in Geschichte und Gegenwart*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 169 S. 【FS-第 101 巻: 『都市的緑地: その歴史と現在』1973 年夏、従来の「歴史的国土空間研究」委員会を「都市と都市地域空間」委員会と改称し、期間と主題を制限した研究会として、特定テーマに焦点を集中する活動を行うことになった。そこで「都市と公開緑地」というテーマが提案され、1974 年 6 月 14, 15 の両日上記テーマの研究シンポジウムがトリアー市で開催され、都市的緑地・空地・近郊レクリエーション空間・都市に近接して維持保存されている都市林等の歴史的成立や市民生活への諸機能につき 14 テーマの報告が行われた。本書はその報告討論の記録である】

FS-Bd. 102: *Beiträge zum Problem der Suburbanisierung*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 204 S., mit Kartenbeilage. 【FS-第 102 巻: 『都市郊外の集落発展過程の問題に寄与する研究資料』この問題をめぐるシンポジウムの記録。郊外化現象の考察と問題提起、郊外空間の区分法、郊外住民の社会行動分析、郊外空間発展への工業立地の諸作用、郊外空間における農業の特質、郊外地域空間発展計画の結果とその特徴 (ルール地帯の事例) 等の報告論文を収録】

FS-Bd. 103: *Stadtregionen in der Bundesrepublik Deutschland 1970*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 134 S., mit Kartenbeilage. 【FS-第 103 巻: 『ドイツ連邦共和国の 1970 年における都市地域』アカデミー「1970 年都市地域の新しい区分」作業

部会の研究成果報告。新しい社会経済的諸指標と、これに照応して基礎付けられた段階区分値に基づいて、1970年国勢調査データと全国共通の基準を使用しつつ、各州各都市の影響圏を自治体境界にまで及ぶ精度で区分し記述する作業が実施された。これによって、既に国土空間整備閣僚会議によって決議されている人口密集地域空間 (Verdichtungsräume) の他に、第2の区分として人口塊状集積地域空間 (Agglomerationsräume) という区分が提起されたわけである。総括方法論の他、各州の記述、1950、1961、1970年の集計一覧表等を収録】

FS-Bd. 104: *Voraussetzungen und Auswirkungen landesplanerischer Funktionszuweisungen*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 133 S., mit Kartenbeilage. 【FS-第104巻: 『地域計画プランナーの立場から競合する土地利用諸機能の間での配分割り当てをする場合の諸前提と諸影響』アカデミーのノルトライン-ヴェストファレン (NRW) 州地域計画研究協団体 (LAG) の1972-1974年度研究成果報告。このテーマについて、とりわけ土地利用競合における優先度の判定基準、解決のための政策的手段や法的対策、レクリエーション地帯の農業生産、ルール工業地帯での広域公園造成、ライン川下流地帯の空闲地計画、山間部における保養のための景観評価 (ザウアーランドの事例地図添付)、地域計画的土地利用割当て区分の法的一貫性、等についての9報告論文を収録】

FS-Bd. 105: *Methoden der empirischen Regionalforschung*, T. 2. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 231 S., mit 2 Tabellen-Beilage. 【FS-第105巻: 『経験的地域研究の (数理統計学的) 諸方法・第2部』地域分析や地域的現象記述のための数理統計学的諸方法、すなわち地域指標、空間メッシュ分析、重力モデル、ベーシック・ノンベーシック概念の適用、投入産出分析、相関分析、変動・共変動分析、マルコフ連鎖変動分析、判別分析、クラスター分析、空間諸関係の数理処理、需要供給の空間配置処理法、数理法と実態調査法を選択結合する手法の習得、等々の方法を地域事例に即して解りやすく解説した関連13報告論文を収録】

FS-Bd. 106: *Die Zukunft des ländlichen Raumes, T. 3: Sektorale und regionale Zielvorstellungen-Konsequenzen für die Landwirtschaft*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1976, 304 S., mit 1 Karte. 【FS-第106巻: 『農村地域の将来・第3部: 農村地域空間発展のための部門別・地域別目標表象-農業にとつての結果』アカデミー「農村地域空間発展の指導表象」作業部会の研究成果報告。農村地域空間発展の基本的諸問題を論じた上で、その農業の目標・社会的目標・集落構造発展の目標・工業発展の目標・林業発展の目標・余暇保養発展の目標・インフラストラクチュア整備の目標・供給廃棄処理分野の目標・環境維持確保の目標等の諸目標の部門別地域別表象と、それらが結果として農業に及ぼす影響について夫々検討し、さらに人口密集地域とその周辺、農村地帯でも強力な中規模中心都市を持つ地域、その他の辺境地域という3地域空間類型における発展助成のあり方を論じた、合計14の報告論文を収録】

FS-Bd. 107: *Infrastruktur im Bildungswesen*. Forschungsberichte des Arbeitskreises „Regionale Bildungsplanung im Rahmen der Entwicklungsplanung“. H. Schroedel Ver-

lag, Hannover 1976, 178 S. 【FS-第 107 卷: 『教育の分野におけるインフラストラクチュア施設』アカデミー「地域発展計画立案の枠内における地域的教育計画」に関する作業部会の研究成果報告。学校制度におけるインフラストラクチュアとしての機能分野や施設整備の重要性についての理論的考察の他、地域的カリキュラム援助、農村小規模校への助成、外国人労働者子弟への就学機会提供、辺境での生徒輸送計画、企業外部での職業養成施設充実、遠隔授業のための学習センター計画等の実際指向的なものを含め、合計 9 報告論文を収録。なお、バイエルン州における外国人子弟の就学受け入れ態勢に関する一覧表も添付されている】

FS-Bd. 108: *Planung unter veränderten Verhältnisse*. Referate und Diskussionsberichte anlässlich der Wissenschaftlichen Plenarsitzung 1975 in Duisburg. H. Schroedel Verlag, Hannover 1976, 68 S. 【FS-第 108 卷: 『情勢変化の下における地域計画立案』1975 年デュイスブルク市で開催された年次学術大会の成果報告。討論の 3 大テーマとしては人口・経済・プランナーの問題が取り上げられた。また各種テーマ別研究グループごとの討議成果についても要旨を収録】

FS-Bd. 109: *Raumordnung in den Niederlanden—Entwicklungsgeschichte, Recht und Organisation*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1976, 122 S., mit 4 Kartenbeilage. 【FS-第 109 卷: 『オランダにおける国土空間整備—その発展史・法制・および組織』オランダの専門家チームによる詳細な報告で、国土空間整備法制や専門用語の独訳も収録。オランダでは国土空間整備がドイツと同様、„ruimtelijke ordening”という用語で呼ばれているという】

FS-Bd. 127: *Regionale Bildungsplanung im Rahmen der Entwicklungsplanung—Zusammenhänge zwischen Bildungs- und Beschäftigungssystem*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1978, 248 S. 【FS-第 127 卷: 『地域発展計画の枠組み内における地域的教育計画の立案—教育システムと就業システムとの間を結ぶ相互諸関係』アカデミー「地域における教育・就業システム」をテーマとする研究チーム(主査: ミュンヘン工大社会学の R. Geipel 教授)の成果報告。地域労働市場における学歴と各職種資格別の労働者の需給関係や、学校と経営体での資格取得機会に著しい地域的不平等の存在する実態が究明され、また地域計画の一環としての教育計画によるその改善策の可能性等を論じた 12 論文を収録】

FS-Bd. 128: *Strukturgefährdete ländliche Räume—zur Notwendigkeit einer Ziel- und Instrumentenrevison*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1979, 274 S., mit Kartenbeilage. 【FS-第 128 卷: 『構造的危機に見舞われた田園農村地域—目標・手段を見直す必要性について』特に 1970 年代以降、田園農村地域の内部に見られる発展と衰退の地域格差拡大の傾向に対処するために、工業開発、学校・教育施設、レクリエーション施設、近距離交通施設、流通機能等の配置や土地利用形態の再検討等を論じ、辺境事例地区の実態を報告する 15 論文を収録】

FS-Bd. 130: *Zum Wandel räumlicher Bevölkerungsstrukturen in Bayern, T. 2: Die Entwicklung der Nahbereiche*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1981, 85 S., mit 21 Farbkartenbeilage. 【FS-第 130 卷: 『バイエルン州における空間的人口諸構造の変化につ

いて・第2部: 近隣地区の発展』ミュンヘン大学経済地理学教室の K. Ruppert 教授のグループによる研究成果。戦前(1939)と戦後(1975)の対比による居住人口密度、自然的・空間的人口動態、外国人率・高齢者率等内部構成、世帯類型・教育程度・長時間通勤者率等を指標として、州内の集落地区別色刷り分布地図による詳細な分析を行っている】

FS-Bd. 131: *Die ökologische Orientierung der Raumplanung*. Wissenschaftliche Plenarsitzung 1978 in Saarbrücken. H. Schroedel Verlag, Hannover 1979, 75 S. 【FS-第131巻: 『空間計画立案の生態学的位置付け』ザールブリュッケンにおける1978年度学術大会の報告と討議記録。環境に優しい国土空間整備構想の実現可能性や、地域計画における景観生態学的目標の統合可能性、生態学的計画の実施上の諸問題等々の方法論と問題点を論じた5論文を収録。なお、ここで使用されている「空間計画」(Raumplanung) という用語は、連邦政府レベルの「国土空間整備」(Raumordnung)、ならびに州政府レベルの「地域計画」(Landesplanung) 等を含む上位概念として用いられていることに注意】

FS-Bd. 132: *Empirische Untersuchungen zur äusseren Abgrenzung und inneren Strukturierung von Freizeiträumen*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, 219 S., mit 10 Kartenbeilage. 【FS-第132巻: 『余暇空間の外部的境界区分と内部的構造分化についての実証的研究』バイロイト大学社会経済地理学教室の J. Maier 教授中心の研究チームによる成果報告。余暇(レクリエーション)空間の計画立案の方法論について、施設収容能力と諸機能の到達範囲(サービスクラス)等のアプローチを利用した境界区分や景観評価法の適用等、区分の方法や考え方をアルゴイ・ハルツ・オーデンヴァルト等の現地に適用した実例を含む5論文を収録】

FS-Bd. 133: *Kleinräumige Siedlungsachsen—zur Anwendung linearer Siedlungsstrukturkonzepte*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, 258 S. 【FS-第133巻: 『小空間の集落軸—直線的集落構造という構想の適用のために』1970年代後半の地域計画熱の盛り上がってきた時期に登場した新テーマの適用をめぐる、「発展軸の内部構造」研究委員会のチームが進めてきた研究成果報告書】

FS-Bd. 134: *Ballung und öffentliche Finanzen*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, 307 S., mit 5 Farbkartenbeilage. 【FS-第134巻: 『人口密集地域と公共財政』人口減少と低成長の下における自治体財政の改革、公共交通財政の不均衡、工場誘致の財政上の採算性等に関する13報告を収録】

FS-Bd. 135: *Die Kommune als Partner der Raumordnung und Landesplanung*. Wissenschaftliche Plenarsitzung 1979 in Augsburg. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, 95 S. 【FS-第135巻: 『国土空間整備と地域計画のパートナーとしての自治体』<sup>コムーネ</sup>アウクスブルクにおける1979年度学術大会の報告・討議の成果。1970年前後に実施された大規模な市町村合併後における自治体の地域実態、自治体内における都市計画等への市民参加や、いわゆる自己確認(アイデンティティ)意識の高まり等の情勢が、国土空間整備・地域計画の立案に及ぼす影響やその実際の接点等を扱っ

た 4 報告を収録】

FS-Bd. 137: *Tendenzen und Probleme der Entwicklung von Bevölkerung, Siedlungszentralität und Infrastruktur in Nordrhein-Westfalen*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1981, 255 S. 【FS-第 137 卷: 『ノルトライン-ヴェストファレン (NRW) 州における人口、集落中心性、およびインフラストラクチュアの発展動向と諸問題』 「NRW 州空間計画の問題と展望」に関する研究委員会 (主査: ルール大学地理学教室 P. Schöller 教授) の前回報告 (Bd. 126, 1978) に続く 2 回目の報告書。地域別人口予測、地域計画カテゴリー別に見た人口変動分析、集落中心性の発展と現状の問題点、地域計画への中心性概念の適用、上位中心地の中心性を規定する基準と方法、国鉄廃止区間の及ぼす経済的影響測定、州土計画・専門分野計画と自治体計画との間の緊張関係のもとでのインフラ整備、等々のテーマに関する 9 論文収録】

FS-Bd. 148: *Beiträge zur Raumplanung in Hessen, Rheinland-Pfalz, Saarland*: Forschungsberichte der Landesarbeitsgemeinschaft Hessen, Rheinland-Pfalz, Saarland der ARL, T. 2. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 99 S. 【FS-第 148 卷: 『ヘッセン・ラインラント-プファルツ・ザールラント 3 州における国土空間計画のための寄与』 同 3 州研究協同体研究成果報告書】 (601/198//D)

FS-Bd. 156: *Der ländliche Raum in Bayern: Fallstudien zur Entwicklung unter veränderten Rahmenbedingungen*. H. Schroedel Verlag, Hannover 1984, 354 S. 【FS-第 156 卷: 『バイエルン州の田園農村空間: 枠組み諸条件の変動下における発展の事例諸研究』 「バイエルン州の田園農村空間研究委員会」 (主査: アウクスブルク大学社会経済地理学教室の F. Schaffer 教授) の 1980-1982 年度研究成果報告書。同州周縁の辺境地帯の事例町村を対象として、消費財供給の問題、人口・職場成長のない中小都市の発展仮説、景気変動に伴う工業立地・支店経営の行動とその市場労働市場で果たす機能、地域経済助成・技術移転政策の効果、国防軍・米軍の基地が辺境に与える直接的影響等々の 11 論文を収録】

FS-Bd. 177: *Räumliche Auswirkungen neuerer agrarwirtschaftlicher Entwicklungen*. Verlag der ARL, Hannover 1988 (VSB-Verlagsservice Braunschweig), 172S. 【FS-第 177 卷: 『新しい農業経済的発展の空間的諸影響』 アカデミーの農業経済学的側面を担当する研究チームが、西ドイツ全国から、郡単位で人口密集地域・大都市からの都市化の影響の大小別に 13 地区の事例農村を選択抽出し、それぞれ望ましい田園農村空間として発展しているかどうかの程度を数値的に表現し得る 37 個の発展指標についてデータを収集し、問題別・地域類型別に分析を加えた結果を集約し、さらに今後の空間計画・部門計画の立案に資する諸提案をまとめた報告書。(なお、この研究報告書の素材となった各事例地域についての実態調査報告の資料を収録したのが、後掲の f)AM シリーズ: 『研究素材資料集』 Nr. 148 の『新しい農業経済の発展の及ぼす空間的影響-地域実態調査』編である。この調査の一部に筆者も参加したことがあるので、特別に後で送付してもらったものである】

## **b) Abhandlungen (AB) 【研究論文・報告書叢書】**

AB-Bd. 22: *Tragfähigkeit und Wirtschaftsstruktur*, von Gerhard Isenberg. Walter Dorn Verlag, Bremen-Horn 1953, 146 S. 【AB-第 22 巻: 『財政負担能力と経済構造』 (L16F5/681-148/DZ)

AB-Bd. 25: *Die Bodenrente in Raumwirtschaft und Raumpolitik*, von Martin Pfannschmidt. Walter Dorn Verlag, Bremen-Horn 1953, 246 S. 【AB-第 25 巻: 『空間経済と国土空間政策における地代』 (L15N3/611-542/DZ)

AB-Bd. 34: *Strukturwandel in Stadt und Umland-Probleme und Ausblicke*, von Wilhelm Hallbauer. Walter Dorn Verlag, Bremen-Horn 1958, 154 S., m. Karten. 【AB-第 34 巻: 『都市と周辺部の構造変化-問題と展望』 1953 年連邦住宅建設省からの委託研究により、建設技術専門家 Hallbauer 氏が実施した、戦前戦後のドイツ各地域における社会経済的構造変化と都市計画分野の諸問題に関する研究成果報告書で、1939-1945 年ドイツ帝国、1948-1958 年の西独連邦諸州を対象とする分析。巻末に事例諸州の図表を収録】

AB-Bd. 36: *10 Jahre Wirtschaftsausbau in Niedersachsen im Spiegel der öffentlichen Haushalte*, von Heinrich Hunke. 2., verb. und erg. Aufl. Walter Dorn Verlag, Bremen 1960, 69 S. 【AB-第 36 巻: 『ニーダーザクセン州における経済建設の十年-公共財政収支への反映から見て』 主として N-S 州政府の公共投資、特に水利、道路建設、引揚げ・被追放者の収容対策等を対象とし、また今後の公共投資としては、雇用対策、農業構造改善、工業拡大対策等の諸分野が取り上げられている】

AB-Bd. 37: *Siedlunglenkung und Raumordnung*, von Hermann Staubach. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1963, 157 S. 【AB-第 37 巻: 『集落(新規住宅集団)の立地誘導と国土空間整備』 連邦建設省(正式には、住宅・都市計画・国土空間整備省)からの委託研究の成果報告。人口・雇用・通勤交通等の諸統計を利用したドイツ全国のテーマ地図化分析と、都市計画の歴史的発展モデルを踏まえた概観的説明、ならびに集落誘導政策の国土空間整備への政策的応用についての提案がなされている。テキスト中に多数の統計表・グラフ・地図類を収録】

AB-Bd. 41: *Die ländliche Kleingemeinde-in Nordwestdeutschland-in geschichtlicher, verwaltungsmässiger und soziologischer Sicht*, von Herbert Morgen u.a. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1963, 77 S. 【AB-第 41 巻: 『北西ドイツの農村小自治体-歴史的・行政即応的・社会学的視点から』 居住人口 500 人未満の小自治体村落の全国分布を概観すると共に、北西ドイツの 4 郡<sup>クライス</sup>を対象として歴史的・行政即応的かつ社会学的視点から調査分析したもの】

AB-Bd. 44: *Standort und Gestalt der Raumforschung: eine wissenschaftstheoretische Untersuchung zum Raumproblem in der Landesplanung*, von Heinrich Hunke. Gebr.

Jänecke Verlag, Hannover 1964, 69 S. 【AB-第 44 卷: 『国土空間研究の地位と構成: 国土開発における地域空間問題への一つの科学理論的探究』いわゆる「ラウムフォルシュング」の科学理論的位置付けと政策的応用課題について論じたもので、英語圏における regional science との近似性を指摘する】

AB-Bd. 45: *Die Bevölkerung in Niedersachsen 1821-1961*, von Gustav Uelschen. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1966, 235 S. 【AB-第 45 卷: 『ニーダーザクセン州の人口 1821-1961 年』19 世紀前半から第二次世界大戦後までの長期間にわたる郡市町村別の人口変遷を整理し一覧表化したもの。ドイツでは 19 世紀まで国土が群小の領邦に分かれ、その後も合併と分割を繰り返してきたため、小地域別の人口推移を 140 年にわたって追跡するのは容易なことではないが、この報告では追跡の可能な限り 1821, 1848, 1871, 1885, 1905, 1925, 1933, 1939, 1946, 1950, 1956, 1961 各年の 12 カ年次の人口数と、1821, 1871, 1939, 1950, 1961 各年次間の人口増減を、一覧表で提供している】

AB-Bd. 50: *Die Gestaltung des kommunalen Finanzsystems unter raumordnungspolitischen Gesichtspunkten*, von Konrad Littmann u.a. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1968, 89 S. 【AB-第 50 卷: 『国土空間整備政策の観点から見た自治体財政システムの構成』西独全体の自治体を対象とする、財政・歳入とりわけ税収・交付金・公債の現状と、自治体財政活動が及ぼす空間的影響、財政制度改革上の問題点を分析したもの。巻末に資料として、全国の行政区別財政統計、EEC 諸国の財政制度比較表等を収録】

AB-Bd. 51: *Kommunaler Finanzausgleich und Raumordnung*, von Werner Ehrlicher u.a. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1967, 116 S. 【AB-第 51 卷: 『自治体財政の調整と国土空間整備』連邦内務省からの委託調査による報告書。地方財政の不均衡調整についての現状批判と、国土空間整備政策の手段としての財政調整の問題点に関する調査鑑定結果を報告したもの】

AB-Bd. 52: *Beiträge zur Entwicklung landlicher Nahbereiche—eine Modellstudie*, von Herbert Morgen u.a. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1967, 138 S. 【AB-第 52 卷: 『田園環境の中における近隣領域の開発に資するための研究報告』農村的・田園的な環境の中における近隣サービス中心施設の開発を目標とする調査研究。関係する諸問題、すなわち中心地理論と社会構造、教育・宗教施設、社会福祉・消費センター、鉄道・道路整備、住宅・産業施設・緑地景観等の都市計画的構想、公共投資の収支計画等について、チュウネン・モデルにならったモデル研究の成果をまとめた報告書】

AB-Bd. 53: *Beiträge zu einer Karte des Infrastrukturbedarfs in der Bundesrepublik Deutschland*, von Felix Boesler. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1968, 72 S. 【AB-第 53 卷: 『ドイツ連邦共和国におけるインフラストラクチャ需要の分布図についての研究報告』西ドイツの郡市町村自治体における道路・病院・学校・福祉施設・上下水道等のインフラストラクチャに対する公共投資必要額に関するアンケート調査 (1962) 結果のデータに基づき作成された郡市別インフラ需要分布図に

ついで分析・解説した報告書】

AB-Bd. 54: *Organisation der Regionalplanung, insbesondere in territorialer Hinsicht*, von Günter Brenken; und, *Entschädigung auf Grund von Massnahmen der Landesplanung*, von Hans-Gerhart Niemeier. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1968, 25 S. 【AB-第 54 卷: 『地域計画の組織体—特にその領域範囲について』および『国土計画措置に基づく賠償』この両テーマにつき西独各州によって異なる法制的・組織的な実情を概観した 2 論文を収録】

AB-Bd. 55: *Öffentliche Vorleistungen als Instrument der Raumordnungspolitik*, von Josef Umlauf. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1968, 42 S. 【AB-第 55 卷: 『国土空間整備政策の手段としての公的事前対策』バーデン・ヴュルテンベルク州内務省の委託により、国土空間整備政策の実施の有効性を確保するための有力な予備的手段として、公共施設用地の取得、交通施設などインフラストラクチュアの整備等の公的事前対策の重要性と実施上の問題点を整理した鑑定報告書】

AB-Bd. 57: *Gebiete mit gesunden Strukturen und Lebensbedingungen-Merkmale und Abgrenzung*, von Gerhard Isbary, Hans-Jürgen von der Heide und Gottfried Müller. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1969, Textbd., 84 S., mit 17 Kartenbeilage. 【AB-第 57 卷: 『健全な構造と生活条件を持つ地域—指標と境界区分』連邦政府内務省からの委託による鑑定報告書。1950 年代以降連邦や各州政府により実施されてきた、困窮地域、(東独との)境界縁辺地帯、振興地域、再整備地域等の国土空間整備政策上重要な地域地帯区分の指標を検討し、生活・労働条件の「健全な」構造を持つ地域地帯を改めて境界区分する場合の問題点を論じ、これらをノルトライン-ヴェストファレン州の例について実際的に検討した成果。付録の地図編には、本文の基礎資料となった 17 枚の彩色区分地図を収録】

AB-Bd. 61: *Zur Reform des städtischen Bodenrechts*, von Werner Ernst und Willi Bonczek. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1971, 87 S. 【AB-第 61 卷: 『都市的土地法制的改革について』立法課題としての都市的土地法制的改革 (Ernst)、都市計画的視点から見た自治体土地法制的改革 (Bonczek) の 2 論文を収録。なお、本巻には印刷ミスの関係で落丁があり、遺憾ながら第 3, 6, 7 頁が白紙となっている】

AB-Bd. 65: *Grossstadtforschung: Entwicklung und gegenwärtiger Zustand*, von Elisabeth Pfeil. 2., neubearbeitete Aufl. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1972, 410 S. 【AB-第 65 卷: 『大都市研究: その発展と現状』ハンブルク政治経済高専教授の Pfeil 女史が 1950 年に出した初版 (本シリーズ第 19 卷) を大幅に改訂した増補版。19 世紀以降の欧米諸国で発展してきた大都市研究理論の主題提起と方法論の潮流を紹介すると共に、都市化プロセス・人口・社会構造・環境・居住・共生と近隣圏等の研究成果の評価、さらに都市計画・大都市政策に関連して種々な計画モデル・衛星都市 (Trabantenstadt) システム等を取り上げる】

AB-Bd. 70: *Raumordnungspolitik—Vorstellungen und Wirklichkeit*. Untersuchungen zur Anatomie der westdeutschen Raumentwicklung im 20. Jahrhundert in ihrer demogra-

phischen und gesamtwirtschaftlichen Einbindung, von Heinrich Hunke. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1974, 227 S. 【AB-第 70 卷: 『国土空間整備政策=表象と現実: 20 世紀における西独空間発展の解剖、特にその人口学的・国民経済的結びきの研究』 20 世紀初頭以来の国土整備と開発に関する理論 (ハワード<sup>5</sup>の田園都市論・ダマシュケ<sup>6</sup>の都市土地改革論・ゾンバルト<sup>7</sup>の都市概念論・同学派の後のベーシック・ノンベーシック概念に接続する中核=外接人口論など) と実際 (「ルール都市連合」等) を取上げ、中心地の理論、人口密集地域論、大都市圏論を論じ、現代の国土空間整備政策論に及ぶ】

AB-Bd. 72: *Untersuchungen zu Arbeiten aus der thematischen Kartographie mit Hilfe der EDV*, von Kurt Oest und Peter Knobloch. H. Schroedel Verlag, Hannover 1974, 258 S. 【AB-第 72 卷: 『電子計算機援用によるテーマ地図学に関する研究論文解題』 直接関係文献の紹介と解説 (173 編)、文献の目録のみ (90 編)、周辺分野の文献解説 (28 編) を収録】

AB-Bd. 73: *Regionale Strukturpolitik durch Wirtschaftsförderung-Ansatzpunkte und Probleme einer sektoralen Differenzierung der Regionalen Wirtschaftsförderung*, von Günter Strassert. H. Schroedel Verlag, Hannover 1976, 73 S. 【AB-第 73 卷: 『経済振興策を通じての地域的構造 (改善) 政策=手がかりとして地域に応じてセクター別に経済振興策の差別化を図るという方法の有効性と問題点』 理論モデルを駆使した研究論文】

AB-Bd. 78: *Verkehrsverhalten und verkehrsspezifische Ausstattungsniveaus in ländlichen Räumen*, von G. Wolfgang Heinze, Detlef Herbst und Ulrich Schuhle. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, 198 S., mit 6 Kartenbeilage. 【AB-第 78 卷: 『農村地域における住民の交通行動と交通関連の設備水準』 ベルリン工科大学の交通経済学・交通政策学科スタッフによる詳細な実地調査報告。調査対象地域は北独のハンブルクとブレーメンの中間に位置する人口希薄で交通不便な農村部 3 地区で、住民数千世帯を対象に調査票によるアンケート調査を実施分析した成果。調査内容の重点は、交通への需要構成要因としての運転免許証の所有や交通手段所有状況、職業 (通勤) 交通・消費生活交通・余暇交通の実態等の諸側面に置かれている。巻末には分析数値表と色刷分布図を収録】

AB-Bd. 79: *Funktion und Wirkungspotential der Raumordnung*, von Heinz Weyl. H. Schroedel, Hannover 1979, 93 S. 【AB-第 79 卷: 『国土空間整備の機能と作用潜在能力』 元自治体行政の要職を務めた経験を持つ著者が、その視点から地域の社会的発展に対して国土空間整備政策が果たす機能とその潜在的可能性について体系

---

<sup>5</sup>Ebenezer Howard, 1850-1928

<sup>6</sup>Adolf Damaschke, 1865-1935

<sup>7</sup>Werner Sombart, 1863-1941

的に論じた研究論文】

AB-Bd. 80: *Zur Problematik der Herstellung gleichwertiger Lebensverhältnisse*, von Karl-Hermann Hübler, Eckart Scharmer, Klaus Weichtmann und Stefan Wirz. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, 150 S., mit Kartenbeilage. 【AB-第 80 巻: 『「同等の価値をもつ生活条件」を達成する上での問題点について』ドイツ連邦基本法上にも謳われ、また国土空間整備政策達成の最終目標としても掲げられている「同等の価値をもつ生活条件」という概念を地域の場において実現化してゆくに当たって問題となる諸論点、すなわち「同等」概念の法律上、経済理論上、また生態学的側面で問題となる点を検討し、国土空間整備と地域計画の目標として適用可能な論点を集約して提起した研究論文】

AB-Bd. 81: *Räumliche Planungen im politisch-administrativen System der Länder*, von Klaus König und Dieter Schimanke. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, 125 S. 【AB-第 81 巻: 『連邦諸州の政治・行政システムにおける空間的諸計画』行政学専門家の立場から、州政府や自治体の空間的計画あるいは空間に関係する行政上の諸計画の役割を整理し、夫々の空間的システム形成上の諸機能を系統的に再検討した成果報告】

### c) Beiträge (BE) 【参考研究論文叢書】

BE-Bd. 11: [Behördliche Raumorganisation seit 1800, Grundstudie 1/I]: *Fallstudie: Weissenburg-Gunzenhausen (Bayern)*, T. 1: Darstellung, von Hanns Hubert Hofmann. H. Schroedel Verlag, Hannover 1977, 122 S. 【BE-第 11 巻: [1800 年以降の官公庁配置の空間組織・基礎研究 1/I] 『バイエルン州ヴァイセンブルク-グンツェンハウゼン地方の事例研究』同州西部農村地域の 1 郡 <sup>クライス</sup> を事例として、地区内官公庁の各管轄区域が 19 世紀から現在に到るまでどのように変遷してきたかを詳細に跡付けた調査報告書の第 1 部: 概観編】 (KB3/5-40//H)

BE-Bd. 12: [Behördliche Raumorganisation seit 1800, Grundstudie 1/II]: *Fallstudie: Weissenburg-Gunzenhausen (Bayern)*, T. 2: Behördenübersicht, von Hanns Hubert Hofmann. H. Schroedel Verlag, Hannover 1977, 154 S. 【BE-第 12 巻: [1800 年以降の官公庁配置の空間組織・基礎研究 1/II] 『バイエルン州ヴァイセンブルク-グンツェンハウゼン地方の事例研究』前記の概観編に対し、本巻は各官公庁の個別調査結果を収録。多数の地図によって管轄区域の変遷を視覚的に把握するための表現が工夫されている】 (KB3/5-40//H)

BE-Bd. 18: [Behördliche Raumorganisation seit 1800, Grundstudie 5] *Die Archivorganisation in den Ländern der Bundesrepublik Deutschland*, von Alfred Tausendpfund. H. Schroedel Verlag, Hannover 1977, 64 S. 【BE-第 18 巻: [1800 年以降の官公庁配置の空間組織・基礎研究 5] 『ドイツ連邦共和国における文書館組織』現在ドイツ国の全領域をカバーしているあらゆる文書館の管轄区域を縮尺 150 万分の 1 の地図上で概観すると共に、これらの文書館の 1800 年以降の発展の大筋を記述】

(099/3436/D)

BE-Bd. 35: *Probleme der Raumordnung in den Kiesabbaugebieten am Oberrhein*, von Landesarbeitsgemeinschaft Baden-Württemberg. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, A4-94 S. 【BE-第 35 卷: 『ライン川上流盆地の砂利採取地帯における国土空間整備の諸問題』アカデミーのバーデン-ヴュルテンベルク州研究協同体 (LAG) のメンバーによる調査研究成果。ライン川上流盆地の中央部、カールスルーエ市周辺の砂利採取跡地の多い地帯で、地下水汲み上げや河況変化等による地下水位低下現象が発生している地域を対象として、水理学・河川工学・景観保全学・森林学・農業経営学・地域経済学・法律学等々の専門家達の調査チームにより、地域景観の再生保全を中心とする空間整備上の問題点を学際的に追究した報告論文集】

BE-Bd. 36: *Untersuchungen zu wasserwirtschaftlichen Grundlagen eines Wasserverbundes in der Bundesrepublik Deutschland—Wasserverbundstudie*, von Peter Schreiber, Herbert Billib, Wolfgang Günther. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, A4-166 S., mit 52 Tabellen und 5 Karten als Beilage. 【BE-第 36 卷: 『ドイツ連邦共和国における水系結合の水利経済的基盤に関する調査研究—水系結合研究』西独全国の各州別に見た 1970 年現在の水需要について、飲料水、工業用水、発電用冷却水の別に需要量推計を行うとともに、将来の人口増加推計に基づく飲料水・工業用水・冷却水の需要増加量を推計し、他方、地域別の各種用水供給量とその供給増加可能量についても推計を実施し、その上で、各地域におけるそれら相互の取支バランスの状況と、これらを地域間で調整する水系結合の現状と将来におけるその発展可能性を検証した報告書。この調査研究は、もともとアカデミーの設置した「エネルギー施設の立地と相互流動路線」研究グループでの討議の中で、発電用冷却水による河川の水温上昇の悪影響が問題となり、これを契機に、全国の水系別・地域別に見た用水の需要・供給の取支バランスとその将来の見通しについて、徹底的に再検討するという課題に取り組む事が提起され、そこでハノーファー工科大学の Billib 名誉教授と二人の協力者を中心として、この総合的な調査研究が実施されることになったのだという】

BE-Bd. 37: *Raumplanung in der Sozialistischen Republik Slowenien*, von Matjaz Jersic und Milan Naprudnik. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, A4-49 S., mit 1 Karte. 【BE-第 37 卷: 『スロヴェニア社会主義共和国における国土空間計画』スロヴェニアの専門家による概説で、1945 年の解放以降のユーゴスラヴィア連邦の自治体制下における国土空間計画、特に 1976 年以後の社会計画の新発展、そしてスロヴェニアにおける都市・水需要・農業・観光と景観保全等の諸側面における国土空間計画の要点を解説したもの】

BE-Bd. 38: *Ermittlung von Basisdienstleistungsbereichen—Bestimmung von Dienstleistungssektoren, die geeignet sind, aufgrund ihrer überregionalen Abhängigkeit in die Gruppe der Primäraktivitäten aufgenommen zu werden*, von Paul Klemmer. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, A4-88 S. 【BE-第 38 卷: 『ベーシック・サービス分野の索定—地域を超える依存度に基づいて第一次 (基礎的) サービス活動のグループと

して索定されるに相応しいサービス・セクターの規定」財政政策専門家の立場から、上記副題で示しているようなサービス・セクターの規定方法について、西独の164都市を対象とする各種データを利用して因子分析・レグレッション分析等により検討を行った成果の報告論文】

BE-Bd. 39: *Nutzungsuntergrenzen der Infrastruktur in ländlichen Räumen*—zur Ermittlung der Effektivität von Infrastruktureinrichtungen unter besonderer Berücksichtigung des Konzepts einer Nutzungsuntergrenze, von Konrad Kentmann. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, A4-66 S. 【BE-第39巻:『農村地域におけるインフラストラクチャーの利用の下限—特に「利用の下限」という概念を考慮したインフラ構造の効率性索定』アカデミー「農村地域におけるインフラ構造施設の供給とその活用」というテーマに関する委託研究の成果の一つで、今後の討議を深めるための素材として印刷に付されたもの】

BE-Bd. 40: *Regionale Wirtschaftspolitik für unterschiedlich strukturierte Räume*—Sitzung der Sektion II der Akademie am 13.6.1980 in Wuppertal. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, A4-78 S. 【BE-第40巻:『多様な構造をもつ地域空間のための地域経済政策』(1980年6月13日、ヴッパータール市で開催されたアカデミー第II部の討論集会報告)いわゆる「古典的」工業地帯(ルール地方や工業都市ヴッパータール周辺地帯等)の発展問題と辺境農村の開発問題を総体的に捉える地域経済政策をどのように考えるか、についての5報告とこれをめぐる10数人の質疑討論のまとめを収録】

BE-Bd. 41: *Überprüfung der Notwendigkeit einer Erweiterung und Harmonisierung von Planinhalten*—Pilotstudie, von H. Kistenmacher, D. Löpke, G. Steinebach. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, A4-50 S. 【BE-第41巻:『地域計画内容の拡大と調和の必要性についての点検—パイロット研究』アカデミーの委託による研究で、地域計画内容の採択基準や計画立案の手段(構造地域・開発軸・中心地・機能地域等の諸概念)適用の方法論に関する研究をまとめた報告】

BE-Bd. 42: *Raumordnung und regionalplanung in europäischen Ländern*, T. 1: DDR, Österreich, Schweiz, Frankreich, Grossbritannien, UdSSR. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, A4-62 S. 【BE-第42巻:『ヨーロッパ諸国における国土空間整備と地域計画・第1部:東独、オーストリア、スイス、フランス、イギリス、ソ連』ドイツのそれぞれの専門家の立場から見た、これら各国における国土空間整備と地域計画の組織と現状についての概観と比較考察を収録】

BE-Bd. 43: *Auslastung der Infrastruktur und Ansprüche der Bevölkerung in schwachstrukturierten ländlichen Räumen*, von Rolf Kretschmann. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, A4-147 S. 【BE-第43巻:『弱体な構造をもつ農村地域におけるインフラ構造の活用と住民の要求』アカデミーの委託による調査の成果報告の一つで、ヘッセン州中部農村地域の四つの事例集落を対象として、各種のインフラストラクチャー、即ち、自治体の行政施設、上下水道、町村道、教育・宗教施設、社会福祉施設、コミュニティ余暇施設、信用機関、郵便局、生活物資関連の商工業店舗、

医療施設、公共交通便、等々の公私のインフラ構造に関する活用程度状況と、これらに対する住民側からの要求について実態調査を実施しまとめたもの。別冊のニーダーザクセン州における同様な調査結果(本 BE シリーズの第 39 巻)と共に、共通テーマ「農村インフラ構造の利用下限」検討のための参考基礎資料として刊行された】

BE-Bd. 46: *Historische Kartographie: Forschung und Bibliographie*, von Günther Franz und Helmut Jäger. 3., erg. Aufl. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, 227 S.

【BE-第 46 巻:『歴史地図学: 研究と文献目録』巻頭の第 1 部ではドイツの国内外における歴史地図学的研究の発展経過を取り扱い、主要部分をなす第 2 部ではやはり国内外の 1700 を越える文献タイトルを細かく分類して収録。巻末の地域別事項・著者名索引は文献利用者に便利である】(099/3406//D)

BE-Bd. 50: *Nutzung und Perspektiven privater und öffentlicher Infrastruktur in peripheren ländlichen Räumen*, von Georg Kluczka, Rolf Betz, Gerd Kühn. H. Schroedel Verlag, Hannover 1981, 253 S.

【BE-第 50 巻:『辺境農村諸地域における私的・公的インフラ構造の利用状況とその展望』辺境地域農村では、インフラ構造の整備という点で、一部インフラ施設の閉鎖等のため重大な問題を抱える地域が多いが、本巻は辺境農村におけるインフラ構造の量的質的に見た制定基準、各種施設の最低利用者数や利用者の到達可能性、あるいは個別のインフラ施設群の連結統合の可能性等の課題への解決案を提示すると共に、これら地域住民の必要とするインフラ構造の供給を改善するための勧告を提起している】(099/3407//D)

BE-Bd. 63: *Zur Entwicklung der ländlichen Bodenordnung im Lande Nordrhein-Westfalen*, von Erich Weiss. Curt R. Vincentz Verlag, Hannover 1982, 176 S.

【BE-第 63 巻:『ノルトライン-ヴェストファレン州の農村田園地域における土地秩序整備の発展について』ノルトライン-ヴェストファレン州における農地整備ないし土地秩序整備の歴史的発展・課題・組織を総括的に記述すると共に、農地整備事業の具体例を挙げて事業の諸課題を明示している。アカデミーの DP シリーズ NRW 州の部第 33 巻で取上げられている農地整備事業地区の地図や解説は、本巻の記述に対して事業の空間的展開を示す点で参考資料となるであろう】(099/3408//D)

BE-Bd. 72: *Bindungen an ländliche Wohnstandorte*. Dargestellt am Beispiel ausgewählter Gemeinden in Hessen und Rheinland-Pfalz, von Wolfgang Marx. Curt R. Vincentz Verlag, Hannover 1983, 225 S.

【BE-第 72 巻:『田園農村的居住地への立地を選択させた結合要因』ヘッセン州とラインラント-プファルツ州から選んだ事例町村についての調査報告。経済総体の停滞、グローバル・産業部門別・地域別のどの面でも増大しつつある失業率、そして人口増加率の低下傾向、これらは、たとえ定期的な差や遅速の差による相違はあるにせよ、何れも徐々に田園農村地域にも浸透してきている。それと同時にこの地域のもつ居住地・保養地域としての魅力性の高まりがある程度認められるようになったのも事実である。こうした問題意識を背景として、一体田園農村地域へ移住してきた住民のうち、どのようなグループがどのような根拠から田園農村への居住を選択することになったのか、に

付いての調査を行った。この調査結果は自治体計画・地域計画の立案に役立つばかりでなく、国土空間整備や集落政策一般に対しても、特に政策選択余地の狭隘化もあり解決の方向を示すものと言えよう】(099/3409/D)

BE-Bd. 85: *Der ländliche Raum. Raumordnungsgemässe Bestimmung, Gliederung und Entwicklung*, von Hartwig Spitzer. Curt R. Vincentz Verlag, Hannover 1985, 165 S. 【BE-第 85 巻: 『田園農村的な地域空間』都市=農村関係の展開の実情を踏まえつつ、環境・土地利用・住宅地化と人口動態の諸側面を取上げる。続いてこの地帯カテゴリーについての複合的な定義によって田園農村諸地域の境界区分と地帯分類のための詳細な構想を導き出す。終章では国土空間整備の構想・政策の中に田園農村地帯のもつ独特の構造・変動過程・開発目標への適切な考慮を取り入れるよう示唆している】(099/3410/D)

BE-Bd. 86: *Raumordnung und Regionalplanung in europäischen Ländern*, T. 3: Südosteuropäische Länder, mit Beiträgen von F. Wenzler, N. Komninidis, L. Dinev, N. Grigorov, M. Kicovic, F. Eke. Curt R. Vincentz Verlag, Hannover 1985, 181 S. 【BE-第 86 巻: 『ヨーロッパ諸国における国土空間整備と地域計画-第 3 部: 東南欧諸国』ユーゴスラヴィア・ギリシャ・ブルガリアとトルコの 4 ヶ国の国土空間整備ないし地域政策について、各国別に社会経済・法制・国土環境等の諸条件、並びに政策の目標・担い手・政策手段の要点を解説】(099/3411/D)

BE-Bd. 90: *Ziele und Wege zur Entwicklung dünn besiedelter ländlicher Regionen*. Curt R. Vincentz Verlag, Hannover 1985, 224 S. 【BE-第 90 巻: 『人口希薄な田園農村地域の発展の目標と道程』アカデミーがラインラント・プファルツ州経済交通省や各種の連合体・研究機関と共に開催したシンポジウムの記録。労働市場と地域的構造改善政策、農業、環境保護とエネルギー供給、交通と通信、集落構造と村落の更新改造、を各テーマとする 5 研究グループからの基調報告・問題提起・主張等を 40 以上の報告論文として記録】(099/3412/D)

BE-Bd. 91: *Erwerbsgrundlagen und Lebensqualität im ländlichen Raum*. Curt R. Vincentz Verlag, Hannover 1986, 149 S. 【BE-第 91 巻: 『田園農村地域における就業基盤と生活の質』アカデミーはベルリンの都市計画研究所との共催で、田園農村地域の開発をテーマとするもう一つのシンポジウムを行った。ここでは開発政策・計画の対象となる諸分野、例えば就業構造と職業教育、交通条件改善、保健施設、文化生活、社会的触れ合い、価値観の変化等の諸問題について多数の報告がなされ、さらに村落計画の問題、政治家や指導者の認識評価の問題まで取上げられた】(099/3413/D)

BE-Bd. 115: *Infrastrukturversorgung bei rückläufiger Bevölkerungsdichte unter besonderer Berücksichtigung der Mobilität von Bevölkerung und Infrastruktureinrichtungen: eine Auswertung der relevanten Literatur*, von Paul-Helmuth Burberg und Günter Wienieke. Verlag der Akademie für Raumforschung und Landesplanung, Hannover 1989, A5-114 S. (VSB - Verlagsservice Braunschweig) 【BE-第 115 巻: 『人口密度の低下傾向を示す地域におけるインフラストラクチャの供給: 特に人口の流動性とイン

フラ構造施設の配置を考慮した考察-重要文献サーヴェイ作業の成果報告』インフラ構造のもつ作用の空間的広狭、短期と中長期に区別した作用分析、および国土空間整備の目標に応じて問題適応的な観点、即ち、中央集権的な効率重視主義ではなくて、地方分権的・居住地近接的な地域住民生活重視のためのインフラ構造配置政策という視点から問題を整理したもの。テキスト部分(94頁)、文献リスト部分(18頁)に分けて収録】

BE-Bd. 121: *Industrielle Zulieferbeziehungen als ein Bestimmungsfaktor der Raumstruktur und der der Regionalentwicklung*, unter besonderer Berücksichtigung aktueller Veränderungen der zwischenbetrieblichen Arbeitsteilung, von Ulrich Brosse und Ralf Spielberg. Selbstverlag der ARL, Hannover 1992, 94 S. 【BE-第121巻:『地域空間構造および地域発展の規定要因としての工業の下請け関係:特に経営体間分業の現実的変動を考慮に入れた考察』(509/2107//D)】

#### **d) Taschenbücher zur Raumplanung (TR) 【地域空間計画のための小型叢書】**

TR-Bd. 1: *Methoden zur regionalen Analyse und Prognose*, von J. Heinz Müller. 2. Aufl. H. Schroedel Verlag, Hannover 1976, 212 S. 【TR-第1巻:『地域的分析・予測の諸方法』統計や経済計測値等のデータを地域の現状分析やその将来予測のために活用する方法・手段を解説】(601/58-1//D)】

TR-Bd. 2: *Grundlagen einer Theorie der Regionalpolitik*, von Elisabeth Lauschmann. 3., völlig neu bearbeitete Aufl. H. Schroedel Verlag, Hannover 1976, 398 S. 【TR-第2巻:『地域計画の基礎理論』内容の重点は、詳細な空間経済の現状分析の解明の際にぶつかる諸問題、ならびに地域政策上の諸施策を判断するための基準の策定に置かれている】(601/58-2//D)】

TR-Bd. 3: *Methoden der Bevölkerungsvorausschätzung unter Berücksichtigung regionaler Gesichtspunkte*, von Karl Schwarz. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 216 S. 【TR-第3巻:『地域的観点を考慮した人口将来予測の諸方法』地域的な人口将来予測の上で重要な諸方法を、実際的な事例解説を交えて要約・解説する】(601/58-3//D)】

TR-Bd. 4: *Grundriss der empirischen Regionalforschung*, T. 1: *Raumstrukturen*, von Olaf Boustedt. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 399 S. 【TR-第4巻:『経験的地域研究の基礎・第1部:地域空間構造』地域研究の構想、地域空間概念と地域区分方法に関する方法論的検討、研究指向と地域計画指向の両観点からの地域区分についての事例による比較検討を取上げる】(601/58-4//D)】

TR-Bd. 5: *Grundriss der empirischen Regionalforschung*, T. 2: *Bevölkerungsstrukturen*, von Olaf Boustedt. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 213 S. 【TR-第5巻:『経験的地域研究の基礎・第2部:人口構成』人口の概念、人口構成、人口の地域空間的な

分布と移動、地域的人口発展、通勤通学による人口流動などを論じる】(601/58-5//D)

TR-Bd. 6: *Grundriss der empirischen Regionalforschung*, T. 3: *Siedlungsstrukturen*, von Olaf Boustedt. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 378 S. 【TR-第6巻: 『経験的地域研究の基礎・第3部: 集落・都市構造』集落と居住空間、都市と都市的空間、郊外空間、都市的集積などの問題を取上げる】(601/58-6//D)

TR-Bd. 7: *Grundriss der empirischen Regionalforschung*, T. 4: *Regionalstatistik*, von Olaf Boustedt. H. Schroedel Verlag, Hannover 1975, 224 S. 【TR-第7巻: 『経験的地域研究の基礎・第4部: 地域統計』地域統計の情報源泉、電子情報処理の活用、因果関係分析、代表値調査と標本抽出操作、基準数と指標、情報源としての官庁統計、個別分野の統計情報(要旨)等を取上げる。巻末には基本用語概念の解説と参考文献目録を収録】(601/58-7//D)

### e) **Deutscher Planungsatlas (DP)** 【ドイツ地域計画アトラス・シリーズ】

DP-Bd. 1: Nordrhein-Westfalen (NRW) 【第1巻: ノルトライン-ヴェストファレン(NRW)州の部】

DP-Bd. 1, Lfg. 13: *Bevölkerungsentwicklung 1837-1970 in den Gemeinden*, von Dietrich Bartels (Karte, Karlsruhe) und Hans-Heinrich Blotvogel / Peter Schöller (Text, Bochum). H. Schroedel Verlag, Hannover 1978, Text: B5-50 S. und Kartenbeilage. 【DP-第1巻第13分冊: 『(NRW州)市町村(ゲマインデ)における1837-1970年間の人口発展』NRW州における地域計画の基礎資料となるこの地図は、同州とその周辺地域を含む縮尺50万分の1の地図をベースとして、1974年の市町村区分により、1837, 1871, 1905, 1939, 1950, 1961, 1970の各年次にわたる人口増減経過のパターンを『発展経過クラス』と呼んで12類型に分類し、これを各色彩段階に区分し表示した地図である。この7個の年次間の時期は夫々ドイツ史の発展段階に対応しており、特に第二次世界大戦の戦中・戦後における都市・農村での対照的な人口変動型が見事に摘出されていて、そこから夫々の地帯の社会的な立地特性を明瞭に読み取ることができるものとなっている】

DP-Bd. 1, Lfg. 22: *Konfessionen und Territorialentwicklung 1970-Fragen - Aspekte - Bezüge - Wirkungen*, von Henry Pohle und Peter Schöller. H. Schroedel Verlag, Hannover 1980, Text: B5-39 S. und 2 Kartenbeilage. 【DP-第1巻第22分冊: 『諸宗教分布と旧支配領域の発展』1970年5月27日国勢調査(人口センサス)の中の宗教宗派別人口統計の市町村別データにより、キリスト教のローマン・カトリック(旧教)とエヴァンゲリッシュ(新教・プロテスタント)、その他の宗教という3区分による絶対値分布図、および独人口の大多数を占める前2者の割合による相対値(12段階色別)分布図(何れも縮尺50万分の1)の2図である。テキスト編では、(I)統計区分の方法上の説明(Pohle)と、(II)本テーマに関する問題提起、分布図読解の方法論、本地域における近世の支配領域形成史とそれが現代の宗教宗派別の人口分布をもたらした背景、宗派別人口分布と工業化との関係、宗派別人口と選挙行

動との関係、以上についての総括的評価と展望 (Schöller) に関して論じている】

DP-Bd. 1, Lfg. 31: *Sozialökonomischen Betriebstypen in der Land- und Forstwirtschaft*, von Joachim Nieder-Vahrenholz (Düsseldorf). Curt R. Vincentz Verlag, Hannover 1982. Text: 21 S. und 1 Kartenbeilage. 【DP-第1巻第31分冊: 『農林業における社会経済的経営諸類型』ラインラントとヴェストファレンの両農業会議所によって1977年に実施された農業経営統計調査(対象69326経営)のデータを基礎として、いわゆる社会経済的類型、つまり日本の専業・兼業別に相当する分類、この場合「専業経営・過渡的経営・追加兼業経営・兼業主体経営」の4類型区分により、NRW州内の農業会議所支所の管轄区域(ほぼ郡市別の地域区分に相当する)別に集計分類し、これを縮尺100万分の1の分布地図4枚に9色印刷で表現したもの。テキスト編には、主として社会経済的類型区分の基準と基礎データについての詳細な技術的説明はあるが、分布図の内容についての解説は特別にはなされていない】

DP-Bd. 1, Lfg. 33: *Flurbereinigung*, von Erich Weiss (Münster). Curt Vincentz Verlag, Hannover 1982, Text: B5-35 S. und Kartenbeilage. 【DP-第1巻第33分冊: 『農地整備事業』NRW州政府農業整備局の専門家による、この地域の農地整備の歴史的発展を概観するための必須の作業として、過去に行われた諸事業の時代的・地域的展開を地図上に跡付けるという労作の成果である。この地域でこれまでに実施されてきた農地整備関連事業としては、時代順に以下の諸事業が取り上げられ、その事業区域が地図上に色別に表示されている。(1)共有地区分・交換分合(Separation u. Zusammenlegung, 1821-1920)、(2)農地整理(Umlegung, 1921-1937)、(3)農地整理(Umlegung, 1938-1953)、(4)農地整備(Flurbereinigung, 1953-1980)の4段階が区分され、その重複関係も図上に表現されている。農地整備と関連して実施される連携事業の種類としては、(a)道路・広場・宅地等の自治体開発、(b)水利施設、(c)景観培養、(d)高速道等交通計画の4種で、これも別の色別で表現される。地図は縮尺50万分の1の9色刷りで、事業実施地域は現在の州域に限定せずに表現されている。テキスト編には、19世紀初頭のフランス(ナポレオン)占領当局による農民解放のための新農業法令に始まり、プロイセン、ドイツ帝国時代を経て、戦後の連邦共和国の農地整備法に至る課題・組織の発展、最近の複合的多目的の農地整備計画の特色や事業実施に至るプロセスを手際よく解説している。労作の地図には、19世紀後半に発展したルール石炭・重工業地帯を囲んで広がる平坦地農村部と山間農村部で、前世紀以来の農地整備がどのように展開してきたかが複雑に表現されている。ただその読解とその背景説明については残念ながらあまり触れられていない】

DP-Bd. 3: *Schleswig-Holstein*. Hrsg.: Ministerpräsident des Landes Schleswig-Holstein, Landeskanzlei, Abt. 2: Landesplanung, ARL-Hannover; Wissenschaftliche und kartographische Gesamtherstellung, von Werner Witt. Walter Dorn Verlag, Bremen-Horn 1960. 【DP-第3巻: 『シュレスヴィヒ-ホルシュタイン州の部』】

(R293/22-3//H)

DP-Bd. 5: *Bayern*. Hrsg.: Bayerische Arbeitsgemeinschaft für Raumforschung München, in Verbindung mit der ARL, Hannover und dem Bayerischen Staatsministerium für Wirtschaft und Verkehr, München. Walter Dorn Verlag, Bremen-Horn 1960. 【DP-第5巻:『バイエルン州の部』】(R293/22-5//H)

DP-Bd. 10: *Planungsatlas Saarland*. Hrsg.: Ministerpräsident für Öffentlichen Arbeiten und Wohnungsbau, Abt. 4: Landesplanung, in Verbindung mit der ARL. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1965. 【DP-第10巻:『ザールラント州地域計画アトラス』】(R293/22-10//H)

#### f) Arbeitsmaterial (AM) 【研究素材資料集シリーズ】(A4 判計 4 冊)

AM-Nr. 80: *Entwicklungsperspektiven des ländlichen Raumes—Arbeitsmärkte, Agrarpolitik, Innovationen*. (Sitzung der Sektion II der Akademie am 18./19. Nov. 1982 in Mainz) ARL-Hannover 1984, A4-130 S. 【AM-80号:『農村地域発展の展望—労働市場・農業政策・技術革新』(1982年11月18,19日マインツで開催されたアカデミー第II部門集会報告)農村における労働市場問題、農業の技術革新、農政変化の地域への影響、農村地域の発展戦略の4報告とこれに対する質疑討論の要旨を収録】

AM-Nr. 94: *Zur Kartierung von Ergebnissen der Landwirtschaftszählung—Fragestellungen, Erläuterungen, zur Statistik und Kartenvorschläge*. (Ergebnisse der Arbeitsgruppe „Landwirtschaftszählung 1979“ des Arbeitskreises „Kartographische Auswertung von Grosszählungsergebnissen für die Landes- und Regionalplanung“) ARL-Hannover 1986, A4-231 S. 【AM-94号:『農業センサス結果の地図化について—問題提起・統計解説・地図化の提案』(アカデミー「国土・地域計画のための大型センサス結果の地図化活用」研究部会の中の、「1979年農業センサス」作業グループ成果報告)農業・環境保全・国土空間整備等諸分野の側からのデータ需要と統計作成者側からのデータ供給の現状、および地図化テーマの提案(土地利用構成・農業生産構造・経営と所得の構造・労働力と社会構造等)と多数の実例(ニーダーザクセン州)による解説を収録】

AM-Nr. 95: *Koordination von Raumordnung und Strukturpolitiken*. (Sitzung der Sektion I und II der Akademie am 9. Mai 1984 in Münster) ARL-Hannover 1985, A4-112 S. 【AM-95号:『国土空間整備と構造諸政策との調整』(1984年5月9日ミューンスターで開催されたアカデミーの第1・第2部会合同集会報告)構造政策、地域経済・労働政策、交通政策、環境政策等の専門分野別諸計画と国土空間整備・地域計画との調整という基本的課題5報告と討議を収録】

AM-Nr. 148: *Räumliche Auswirkungen neuerer agrarwirtschaftlicher Entwicklungen: Regionalstudien*. ARL-Hannover 1989, A4-411 S. (Geschenk von Dr. Tönnies, ARL-Büro) 【AM-148号:『新しい農業経済の発展の及ぼす空間的諸影響—地域実態調

査』本テーマについての研究部会に属する全国各地のメンバーによる 13 標本地域の実態調査報告集。1967 年に調査を行ったのと同じ 13 標本地域を対象に、それ以来の変貌を追跡調査した結果を収録。部会としての総括報告 (FS シリーズの第 177 巻) の素材となった個別調査の詳細な資料を提供するもの】

**g) Raumforschung und Raumordnung**【雑誌『国土空間研究と国土空間整備』1935 年の創刊以来、第二次世界大戦の敗戦の混乱による中断の時期を除いて、今日まで継続刊行されている周知の雑誌。戦後は、本アカデミーとボン市所在の連邦地誌・国土空間整備研究機関 (近年は、連邦政府建設・国土空間整備局=BBR に組織替え) との共同編集により発行されてきた。なお、明治大学図書館には創刊以来の本雑誌の全巻が収蔵されている】(P601/3//D, P601/3//DZ(C18J4))

#### **h) Sonderveröffentlichungen**【その他の特別出版物】

*Handwörterbuch der Raumforschung und Raumordnung*. Hrsg.: ARL, 3 Bde. 2. Aufl. Gebr. Jänecke Verlag, Hannover 1970. 【アカデミー編『国土空間研究・国土空間整備事典』(1970 第 2 版)】

*Handwörterbuch der Raumordnung*. Hrsg.: ARL. Selbstverlag der ARL, Hannover 1995. 【アカデミー編『国土空間整備事典』(1995 新版)】(318.9/91//D)

*Nachrichten der ARL*, Nr. 36 September 1986. ARL-Hannover 1986, A4-106 S. 【『アカデミー通信』36 号。集会、研究部会活動、出版物のリスト・解題等を収録、不定期出版物】

*Jahresbericht 1975*. ARL-Hannover 1976, B5-71 S.【『アカデミー 1975 年度業務報告』】

*Jahresbericht 1985*. ARL-Hannover 1986, B5-160 S. 【『アカデミー 1985 年度業務報告』】

*ARL: Vademecum 1973-1974*, Hannover 1974, 171 S. 【『アカデミーポケット要覧 1973-74』】